

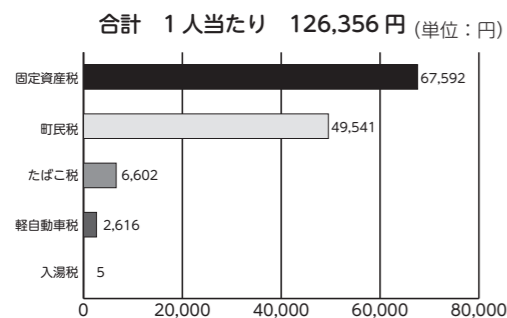
財政公表

今月号では、鏡石町財政状況の作成及び公表に関する条例の規定により、平成29年度上半期の予算状況及び9月定例議会で認定された平成28年度決算の内容について一般会計を中心にお知らせします。

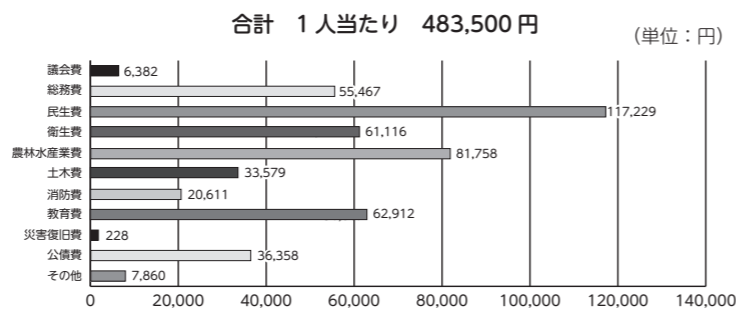
財政用語の解説

- 【一般会計】**
町の中心となる会計で、行政を運営するための基本的な経費を計上した会計のこと。
- 【公債費】**
事業を行うために借入れたお金（町債）の元金・利子や一時借入金の利子を支払うお金。
- 【普通建設費】**
道路、学校などの建設・整備に使われるお金。
- 【繰入金】**
各種基金の取り崩しや特別会計などから繰り入れるお金。
- 【繰出金】**
各種基金や特別会計などへ繰り出されるお金。
- 【地方交付税】**
自治体の財政力に応じて国から交付されるお金。
- 【町債】**
国や銀行などからの借入金。
- 【扶助費】**
社会保障制度の一環として、子どもや高齢者などに対して使われるお金。

町民1人当たりの納めたお金



町民1人当たりに使われたお金



各会計町債残高の状況 (町の借金残高)

会計区分	町債残高
一般会計	50億6,394万円
鏡石駅東第1土地区画整理事業特別会計	2億 69万円
公共下水道事業特別会計	33億9,275万円
農業集落排水事業特別会計	4億 656万円
上水道事業会計	15億4,962万円
合計	105億4,038万円

平成28年度末現在

平成28年度各会計決算状況

会計区分	歳入	歳出
一般会計	63億 797万円	61億8,832万円
国民健康保険特別会計	17億 580万円	16億3,488万円
後期高齢者医療特別会計	9,701万円	9,689万円
介護保険特別会計	9億3,077万円	9億1,405万円
土地取得事業特別会計	3,005万円	3,000万円
工業団地事業特別会計	4,736万円	4,665万円
鏡石駅東第1土地区画整理事業特別会計	1億5,973万円	1億5,081万円
育英資金貸付費特別会計	617万円	615万円
公共下水道事業特別会計	4億6,062万円	4億5,670万円
農業集落排水事業特別会計	6,503万円	6,433万円
小計	98億1,051万円	95億8,878万円
上水道事業会計	3億7,869万円	4億 48万円
合計	101億8,920万円	99億8,926万円

※上水道事業会計の資本的収入額が資本的支出額に不足する額は、過年度分損益勘定留保資金等で補てんした。

基金積立金現在高の状況 (町の貯金残高)

基金区分	現在高
財政調整基金	7億7,283万円
減債基金	4,082万円
役場庁舎新築事業基金	7億9,927万円
東日本大震災復興交付金基金	2,819万円
その他	9億6,832万円
合計	26億 943万円

平成29年5月31日現在

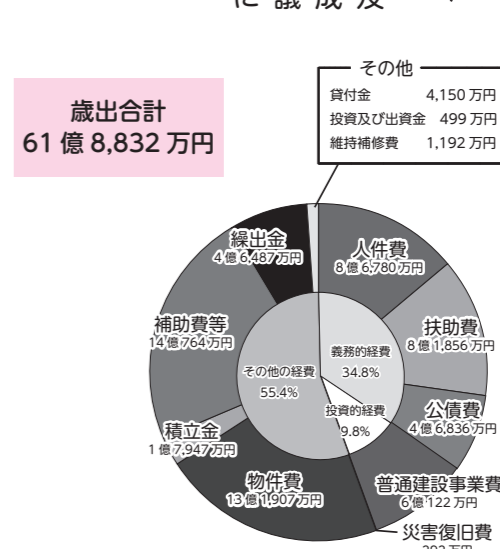
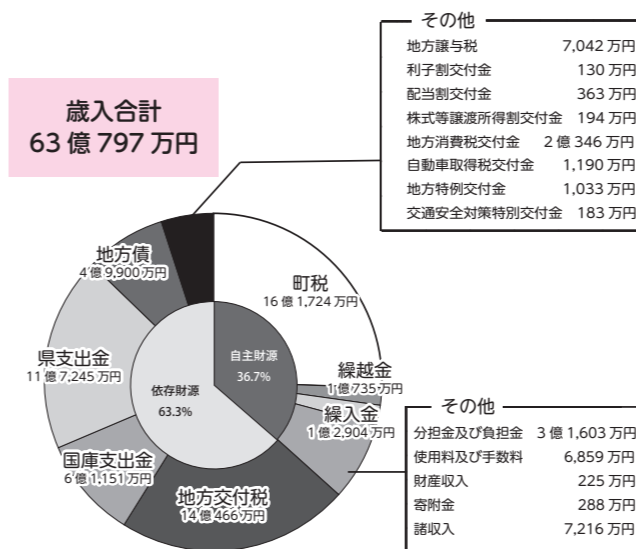
平成29年度各会計現計予算状況

会計区分	予算現計
一般会計	61億4,392万円
国民健康保険特別会計	16億7,180万円
後期高齢者医療特別会計	9,583万円
介護保険特別会計	9億 849万円
土地取得事業特別会計	3,004万円
工業団地事業特別会計	1億 530万円
鏡石駅東第1土地区画整理事業特別会計	2億 420万円
育英資金貸付費特別会計	812万円
公共下水道事業特別会計	5億 342万円
農業集落排水事業特別会計	7,570万円
小計	97億4,682万円
上水道事業会計	8億2,838万円
合計	105億7,520万円

平成29年度上半期予算状況

平成29年度予算については、除染事業は完了しましたが、道路側溝堆積物撤去処理事業3億5,463万円、原子力災害対策補完事業9,727万円といった事業を新たにを行うなど引き続き原子力災害対策関連事業を実施していくこととしており、震災以降引き続き大規模な予算となつています。

鏡石まちの駅設置事業として1億8,476万円(平成28年度繰越事業含む)、公園施設長寿命化支援事業として1億8,400万円、町制施行55周年記念事業(式典の開催、全国あやめサミット開催、田んぼアート事業等)として2,194万円、進化する鏡石実行プロジェクト(駅東口整備事業・田んぼアート事業(再掲)等)として1,015万円を計上しています。



前年度を上回る大規模決算

平成28年度の一般会計決算は、63億797万円と昨年度決算額と比べて3億5,768万円の増となりました。震災復旧・復興事業が概ね完了し通常時へと移行行く中で、昨年度を上回り、依然として大規模な決算額となりました。

歳出の主な内容は、換地精算が行われた成田ほ場整備事業で6億2,215万円、最終年度となった除染関連事業で4億7,574万円、継続事業となる中学校耐震補強・大規模改修事業で2億4,503万円などです。

一方、歳入の主な内容は、町民の皆さんから納めていただいた町税16億1,724万円、国から交付される地方交付税14億466万円、県支出金11億7,245万円、245万円などになります。町税の歳入に占める割合は25.7%と高いため、納期限内の納付が重要になります。

鏡石町の財政健全化判断比率の公表

財政健全化判断比率の状況

指標	健全化判断比率	早期健全化比率
①実質赤字比率	-	15.0%
②連結実質赤字比率	-	20.0%
③実質公債費比率	10.0%	25.0%
④将来負担比率	27.3%	350.0%

※平成28年度決算に基づく数値

【健全化判断比率】

- ①実質赤字比率**
一般会計などの実質収支が黒字のため該当なし。
- ②連結実質赤字比率**
一般会計などに公営企業会計を含めた実質収支が黒字のため該当なし。
- ③実質公債費比率**
標準財政規模に対する一般会計などが負担する元利償還金などの割合は、10.0%で前年度に比べ2.2%減少。
- ④将来負担比率**
標準財政規模に対する一般会計などが将来負担すべき実質的な負債の割合は、27.3%と前年度に比べ0.1%増加。

し、年々減少傾向にあるものの、中学校の耐震補強・大規模改修に係る借入により町債残高は7,787万円増加し、今後の借入等、引き続き計画的な財政運営を迫られています。